

登壇スタートアップ企業 概要紹介

ソイル・コミュニケーション合同会社 (代表社員 松田 文雄氏)

農業の土づくりの技術「SOFIX(土壌肥沃度指標)」は、立命館大学で開発された土壌微生物の活動を数字で「見える化」する技術。代表の松田氏はSOFIX農業推進機構を退職後、令和4年にSOFIX農業推進機構より特許実施許諾を受けて活動を開始。令和5年3月、ソイル・コミュニケーション合同会社を設立。農業の基本「土づくり」から持続可能な社会を実現することを基本理念として、SOFIXを活用した土壌分析、診断、農業生産者と消費者との連携、地域の活性化などの伴走型事業に取り組む。

パワーアシストインターナショナル株式会社 (代表取締役 八木 栄一氏)

和歌山大学で農業用パワーアシストスーツを長年研究開発してきた八木氏が平成27年に設立した、和歌山大学発ベンチャー。平成30年に農業、物流、建設、工場内作業、介護や日常生活において利用できるパワーアシストスーツを製品化し、販売開始。収穫コンテナ等重量物の持ち上げ・下げ時の腰の負担、長時間の中腰作業の姿勢保持の負担、傾斜地や重量物運搬の歩行の負担を軽減。農林水産省の公式YouTubeチャンネル、G20大阪サミットの歓迎レセプション等でも紹介された。

遊士屋株式会社 (代表取締役 宮澤 大樹氏)

平成29年、伊賀市で農業によるウェルビーイングな雇用創出と、日本の最高品質の苺を世界に届けることを目指す生産ブランド「完熟クラフト苺BERRY」を立ち上げる。D2C※販売と海外輸出を軸に事業を展開。令和4年、気候変動後の世界でも高品質苺を食べ続けられるよう、環境負荷を限りなく抑えた栽培を行うThe Good Green FarmsをCultivera Inc.との共同で開始。GoogleテレビCMに採用。農林水産省ノウフクアワード受賞。地域イノベーション大賞優秀賞受賞。

※D2C: Direct to Consumer。生産者が企画・製造・販売を一貫して行い、消費者と直接取引すること。